

茶臼原通信

令和2年度
1月号
発行者：外山

今年もお世話になりました 皆様、よいお年をお迎えください

今年も残すところあとわずかとなりました。コロナ禍の中で1年が暮れようとしています。今年はコロナの影響でいつもとは全く違う1年になりました。3月の全国一斉臨時休業、4月～5月2回日の臨時休業、そして相次ぐ行事等の中止や縮小が続き、子ども達ばかりでなく、保護者の方や友愛園の先生方にとってもストレスのたまる1年だったことと思います。



しかし、そんな中でも茶臼原小学校は、運動会、宿泊学習、修学旅行、持久走大会等の大きな行事については、内容や行程の見直しはありましたが、何とか通常に近い形で行うことができました。私はいつも言いますが茶臼原小学校の子ども達の一番いいところは、様々な行事に全力で取り組み、それを楽しめるところだと思います。その姿はいつ見ても子どもらしく、応援したくなります。

こんな子ども達が育つのは、ひとえにいつも子ども達のことを一番に考え、そのためには労を惜しまない保護者の皆様や友愛園の先生方をはじめ、茶臼原地区の皆様の学校に対する御支援や御協力のお陰だと、心から感謝しております。

来る令和3年もまだまだコロナの影響は続くことと思いますが、茶臼原小学校の子ども達と茶臼原小学校を温かく見守りいただきますよう、よろしくお願い致します。

【茶臼原小学校の2学期の風景】



冬休み、こたつの中でお話を・・・

今年の冬休みコロナの影響もあり、外出を控えて家の中で過ごすことが多くなるのではないのでしょうか。こたつやストーブを囲み、家族や友愛園で過ごす時、保護者の方や友愛園の先生方の子ども時代のお話をするのもいいのではと思います。子どもの頃、昔の大人が教えてくれたことや知恵や技について今の子ども達に伝えることも大切ではないかと思うのです。

私が祖母から聞いて覚えているのは、「柿を食べると医者が青くなる」という話です。柿はたくさん栄養が詰まっている。柿を食べすぎると下痢になることもあるという意味だったと思います。

「果樹になった実は全部取らずに一つだけ残しておきなさい」と言われました。一つだけ残すと来年豊作になる。一つだけ残すのは野鳥のためだという意味でした。

祖父母は決して数字や難しい言葉は使わなかった気がします。しかし私に分かるように教えてくれました。何気ない体験談は面白くて、今でも忘れていません。もう祖父母はいませんが、年老いた母と話していると、ふと少年時代のやり取りを思い出します。

大人からもらう宝物はお年玉のような金銭だけではなく、ずっと心の中に残るこんなお話ではないかと思っています。この冬休みそんな時間ができるといいなあと思います。



1月行事予定表

日	曜	おもな行事等
1	金	元日 冬季休業
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	3学期始業式
7	木	身体計測1～6年 色覚検査4年
8	金	委員会活動
9	土	
10	日	たこあげ大会 ※雨天 1/17 に延期
11	月	成人の日
12	火	ALT 1～6年
13	水	登校班会 インリーダー研①4・5年
14	木	
15	金	参観日 1年給食試食会 学保委員会
16	土	
17	日	(たこあげ大会予備日)
18	月	児童英検6年 木城中入学説明会6年
19	火	ALT 3～6年
20	水	教育相談 インリーダー研②4・5年
21	木	バースデー給食1月
22	金	代表委員会・委員活動
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	ALT 5・6年 クラブ活動
27	水	芸術家体験授業6年①
28	木	芸術家体験授業6年②
29	金	上新田中入学説明会6年
30	土	
31	日	

豊かな体験活動が 茶小の子ども達を育てています

この12月も茶臼原小では様々な体験活動や出前授業が行われました。茶臼原小の教育課程には豊かな体験活動が盛り込まれています。そこには地域に方々のご協力があり、また小さい学校だからできることもたくさんあります。



【JA 西都出前授業】

お茶生産農家の石川さんの作業場で、3年生が手もみ茶体験学習を行い丁寧なお茶づくりの生産工程の大変さや作る喜びを学びました。

6年生が西都産のズッキーニについて、その生産過程について学び、ズッキーニを使った、ラタトゥイユという料理作りに挑戦しました。



【手もみ茶体験】

子ども未来部会の方が準備してくださった材料を使って、今年は子ども達と先生方だけで作りました。難しい糸通しや糸張りに苦戦しながらも、みんな作り上げました。



【凧作り】

茶臼原小の保護者の皆様、友愛園の先生方、茶臼原地区の皆様が、穏やかな年越しと素晴らしい新年をお迎えされますことをお祈り申し上げます。

茶臼原小学校 校長 外山健一郎

